

防災マップの使い方

この防災マップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

防災マップの使い方

まず、自分の位置を確認しましょう。

災害が想定される位置を確認しましょう。自分がいる場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



次に、近くの避難所を確認しましょう。

一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



目次

避難時の注意点・避難情報..... 1	避難所一覧・AED設置施設.....
洪水ハザード情報..... 2	ヘリポート等一覧..... 10～11
竜巻・不発弾..... 3	竹富町全体図..... 12～13
防災対策&チェック..... 4	防災マップ..... 14～77
非常時持ち出し品の準備&チェック..... 5	感染症対策について..... 78
地震・火災..... 6	災害時要配慮者の安全のために&
津波・高潮..... 7	自主防災組織..... 79
風水害・台風..... 8	家庭での備えについて..... 80
土砂災害..... 9	

発行：竹富町 作成：令和6年3月

「この地図は、竹富町長の承認を得て、同町発行の道路網図を使用し、調製したものである。(承認番号) 竹まち土第273号」

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 5JHs 167-120号

JIS Z 8201 広域避難場所



(禁無断複製) ©2024 ZENRIN CO., LTD.

避難時の注意点・避難情報

水害・土砂災害の防災情報の伝え方がわかります

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

逃げ遅れゼロへ

警戒レベル **4** で全員避難!!

[警戒レベル]で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、[警戒レベル]を用いた避難情報が導入されています。

市町村から[警戒レベル3、4]が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

<p>警戒レベル1</p> <p>心構えを高める (気象庁が発表)</p>	<p>警戒レベル2</p> <p>避難行動の確認 (気象庁が発表)</p>	<p>警戒レベル3</p> <p>高齢者等は避難! (市町村が発令)</p>	<p>警戒レベル4</p> <p>避難指示(緊急) 全員避難! (市町村が発令)</p>
--	--	---	---

[警戒レベル6] (市町村が発令)は既に災害が発生又は切迫している状況です。

洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さは50cm!!

歩ける水深は平均約50cm。
水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。
ひもで締められる運動靴が良いでしょう。



ロープでつなげる!

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう!
また、水面下には危険が潜んでいます。
長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



土砂災害から身を守るには

逃げ方に注意しましょう!

土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(崖から離れた部屋や2階など)に移動しましょう。



命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。
テレビ、インターネットや防災アプリ、自治体から発信される情報の収集に努めてください。

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。



テレビ・ラジオ



インターネット・防災アプリ
気象庁ホームページ



防災無線・広報車

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載